

ユニットコンピテンス		卒業時コンピテンスに対する達成レベル (病理学各論)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は、卒業時に責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。			
<医師としての考え, 態度>			
1	広い視野を持ち、豊かな人間性を涵養できる。	F	
2	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。	F	
3	法的規範を遵守し、行動に責任を持つことができる。	F	
4	個人の尊厳を尊重し、心理・社会的要因と多様性を理解し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。	F	基盤となる態度・価値観の修得が単位認定の要件である (Basic)
<チーム>			
5	チームの目標を達成するために、リーダーシップやフォロワーシップを発揮して、多職種連携を実践できる。	F	
<自己啓発>			
6	常に自己の心身と社会的状態を評価し、良好な状態 (ウェルビーイング) を保つことができる。	F	
7	他者に対して指導や支援を求めることができ、自らも指導や支援をすることができる。	F	
8	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。	F	
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は、卒業時に良好な人間関係を構築し、情報を適切に取り扱い、わかりやすく伝えるために、以下の行動ができる。			
1	個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴し、共感、理解、支持的態度を示し、信頼関係を築くことができる。	F	
2	他者やそれを取り巻く状況に配慮しながら、適切な方法で、必要な情報収集や情報伝達を行うことができる。	F	
3	様々なメディアを活用して適切に情報を収集し、吟味し、発信することができる。	F	
III. 医学および関連領域の知識と応用			
千葉大学医学部学生は、卒業時に医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。			
1	人体の構造と機能	C	応用できる知識の習得が単位認定の要件である (Applied)
2	発達、成長、加齢、死	C	

ユニットコンピテンス		卒業時コンピテンスに対する達成レベル (病理学各論)	
3	心理と行動	F	
4	病因と病態	D	応用できる知識の習得が単位認定の要件である (Applied)
5	診断	D	
6	治療、予防	D	
7	疫学、統計	F	
8	保健・医療・福祉制度	F	
9	医療関連法規	F	
10	医療経済	F	
11	情報・科学技術	E	
12	医学・医療英語	E	
IV. 診療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。			
1	医療面接を実施できる。	F	
2	身体診察を実施できる。	F	
3	基本的臨床手技を実施できる。	F	
4	感染対策を実施できる。	F	
5	臨床推論により診断ができる。	F	
6	検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。	D	
7	治療計画を提案できる。	F	
8	医療文書を作成できる。	F	
9	状況に即したプレゼンテーションができる。	F	
10	Evidence-based medicine (EBM) を実践できる。	F	
11	Shared decision making (SDM) を実践できる。	F	
12	情報・科学技術を活用した診療を必要に応じて実践できる。	F	
V. 社会と医療			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 個人と社会のつながりを理解し、社会と医療の発展のために、以下のことができる。			
1	健康の社会的決定要因 (Social Determinants of Health: SDH) の	F	

ユニットコンピテンス		卒業時コンピテンスに対する達成レベル (病理学各論)	
	観点から、患者・生活者を理解できる。		
2	保健・医療・福祉に必要な資源を活用し、連携・協働ができる。	F	
3	患者・生活者の疾病予防・健康増進の活動を支援できる。	F	
4	個人の多様性を受容し、活躍することを支援できる。	F	
5	個人から地域・国際社会、地球環境に至るまでの保健・医療・福祉の課題を評価できる。	F	
6	広い視野から保健・医療・福祉の課題の改善に努めることができる。	F	
VI. 科学的探究			
千葉大学医学部学生は、卒業時に常に探究心を持ち、未知・未解決の科学的問題の解決に向けて、以下のことができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解できる。	D	基盤となる態度・価値観の修得が単位認定の要件である (Basic)
2	新しい科学的知見について、論理的・批判的な思考ができる。	E	
3	学術・研究活動等に参画し、自らの役割を果たすことができる。	F	
4	自らが関与した学術的成果を口頭および文書で発表できる。	F	